

# MINICON α

## FAST RISE & ECO

この度は弊社製品<MINICON α>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。MINICON αは、フューエルインジェクタータイミングを制御することにより、エンジンレスポンス向上、燃費改善を目的としたミニサブコンピューターです。

本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

※別売エアコンアダプターと組み合わせることにより、加速時の一定時間エアコンコンプレッサーを停止し省エネ運転をおこなうことが可能です。

※すでに当社製品ADICを装着されている車両には取り付け出来ませんのでご了承ください。※その他弊社製品との組み合わせは可能です。

### 警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 運転者は、走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。
- 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。
- 本製品はインジェクター信号制御を目的に製作されています。配線の接続及び、使用方法を間違えると車両の不調・破損・事故をきたす場合がありますので十分慎重に取り扱い下さい。なお何かの原因で車両の不調・事故が発生しても当社では一切の責任を負えませんのでご了承ください。

### 注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 本製品およびハーネスを高温度もしくは水のかかる場所に設置することは絶対にさけて下さい。また製品を落下させたり、衝撃を与えたりすると故障の原因になります。
- 製品(本体、ハーネス)を分解もしくは改造して使用した場合、保証対象外となり当社では一切責任を負うことが出来ません。
- 電子制御に関わる部分です。接続位置、接触不良が無いように慎重に作業をおこなって下さい。
- 配線を這わす時には可動部分は避けて取り付けして下さい。巻き込まれたり引っ張られたりしてハーネスが断線しないように注意して下さい。

【付属品】 ◎MINICON本体×1 ◎ハーネス×1 ◎タイラップ×4 ◎両面テープ(大)×1

### 【MINICON αの機能と特徴】

- MINICON αの独自回路により、インジェクタータイミングを変化させ、エンジンフィーリング向上が可能です。  
\* 特にアクセル開度約30%～よりのエンジンフィーリングが向上します。
- カブラーオンの取り付けが可能です。
- 本体横のスイッチを切り替えることにより、モードを簡単に切り替えることが出来ます。

### 【MINICON αの取り付け作業の注意】

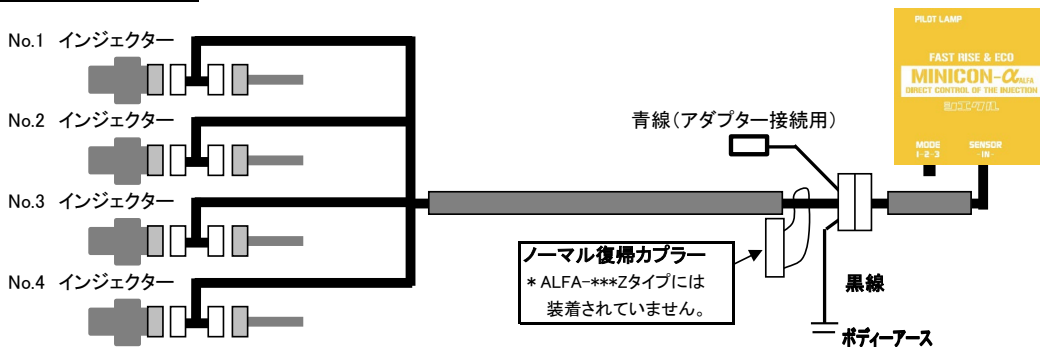


- 取り付け作業はエンジンキーを抜いてから約5分間以上経過してからおこなって下さい。  
→完全に車両電源がシャットダウンしないうちに作業をおこなった場合、エンジンチェックが点灯してしまいます。  
→フューエルインジェクター周りは高温になっている場合があります。温度が低くなってから作業をおこなって下さい。
- 取り付け作業はバッテリーをはずさずにおこなって下さい。
- 本体の取り付けは高温、水のかかりやすい場所を避け、ゴムカバーが上になるよう取り付け向きに注意して固定して下さい。
- 本体、ハーネスを分解及び加工されますと、思わぬトラブルの原因となりますので絶対に行わないでください。

### 【取り付け方法】

●MINICON αはエンジンルーム内のフューエルインジェクターに接続します。インジェクターの位置を確認してから作業をおこなって下さい。

**接続方法** \* 3気筒車はNo. 4インジェクターがありません。



①エンジンが低温になってから、エンジンルームのフューエルインジェクターカバーを抜いて下さい。

②MINICON αのカブラーに貼ってある番号とインジェクターの番号を合わせながらMINICON αのカブラーを割り込み接続して下さい。

- 車両インジェクターに番号表示はありません。エンジンのファンベルトが装着されている側がNo.1インジェクターになります。
  - インジェクターのカブラーは熱等により非常に抜きづらくなっている場合があります。その場合はラジペン等を使用し丁寧にカブラーを抜いて下さい。
- ③一部車両にて車両側のメスカブラーとMINICON αのオスカブラーの勤合がしにくい場合があります。その場合は車両のメスカブラー奥に付いている防水ゴムを外した状態にてMINICON αのオスカブラーを確実に接続して下さい。

③MINICON αの黒線を確実にボディアースして下さい。



④MINICON αのハーネスはエンジン駆動部分、高温部分を避けて配線の引き直しをおこなって下さい。

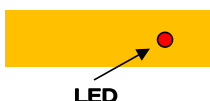
⑤6極カブラーから出ている青線はオプションのACアダプター接続用です。オプション未使用時は使用しません。

- Xタイプのみ可能、RとZタイプには青線がありません。

### 【作動確認方法】

確認作業は安全な場所でおこなって下さい。

本体が正常に働いているかMINICON本体横のLEDの状態とエンジンの吹け上がりにて確認して下さい。



LED

- イグニッションキーをONにするとLEDは赤色に点灯します。

- エンジンが正常に吹け上がればOKです。

\* ハイブリッド車の一部他は走行しないと正常に吹け上がらない車両があります。

\* 最近の車両では、停止時の空吹かしを行った場合3000rpmにて回転リミッターが働く車両があります。このことを考慮し、確認をおこなって下さい。

## 【本体固定方法】

- MINICON α 本体を両面テープにより確実に固定して下さい。
  - 本体をエンジンルームに固定する場合は、熱、水の影響の受けにくい場所を選んで固定させて下さい。
  - エキゾースト付近や、直接エンジン上に固定するのは絶対に避けて下さい。
- MINICON α を車内よりコントロールしたい場合は、別売のスイッチ (ALFA-SW2 ¥3,000) を装着することによりモード切替が可能になります。



- 注意:**
- 配線はファンベルト等に干渉しないようにし、点火系、インジェクター系、アンブ系、HID等のノイズが発生しやすい配線の近くは絶対に避けて下さい。誤作動する危険があります。
  - 本体をエンジンルームに固定する場合は、本体に付属のゴムカバーを被せて下さい。必ずゴムカバー側を上方向に向け、固定して下さい。



- 注意:**
- MINICON α ハーネスの延長はトラブルのもとになります。絶対におこなわないで下さい。



**重要:** MINICON α ハーネスはエンジンルーム内で使用する為、長期間使用された場合ハーネスが劣化し接触不良を起こす可能性があります。使用中にエンジン不調が発生した場合新品と交換する事を推奨いたします

## 【設定方法】



- MINICON α は本体横の切り替えスイッチにより下記の3段階の切り替えが出来ます。品番によりスイッチの役割が異なります。  
\* 本体裏側の品番シールを確認して下さい。

### ALFA-Xの場合

MODE 1	中高回転域のトルク感UPを狙ったモードです。アクセルを開け気味の運転時に大きな効果を生みます。
MODE 2	ノーマルモードです。
MODE 3	アイドリング状態より制御を入れたモードです。低速域のフィーリングがモード1と異なります。

### ALFA-Rの場合

注意！ ZC32S車はモード1は設定不可 (エンジンチェックが点灯する場合があります)

MODE 1	中高回転域のトルク感UPを狙ったモードです。アクセルを開け気味の運転時に大きな効果を生みます。
MODE 2	ノーマルモードです。
MODE 3	アイドリング状態より制御を入れたモードです。低速域のフィーリングがモード1と異なります。

### ALFA-Zの場合

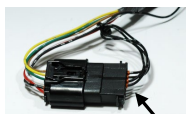
注意！ モードNはノーマルではありません。

MODE 1	低速～高速までオールマイティーな特性のモードです。低速域の特性はモード2に順じます。
MODE 2	低中速域でのフラットトルクを狙ったモードです。低速域より絶妙なトルク感が得られます。
MODE 3	中高回転域のビーキーさを狙ったモードです。アクセル開度が大きい時に効力を発揮します。

## 【ノーマル復帰方法】

- 万が一、エンジン不調等の症状やエンジンチェックランプが点灯する場合は、ノーマル状態へ戻して走行して下さい

### <ALFA-\*\*\*X, Rの場合>



ノーマル復帰カプラー

- 本体横のスイッチにて<N>の位置へレバーを倒して下さい。
- 症状が改善されない場合はMINICON α 本体より6極カプラーを抜き、ノーマル復帰カプラーへ差し替えて下さい。
- ノーマル復帰しても不調の状態が直らない時は？
  - \* 全てのハーネスを抜き、完全にノーマル状態に戻して下さい。
  - \* 完全にノーマル状態にしても直らない場合、MINICON α の制御とは関係の無い部分の原因が考えられます。

### <ALFA-\*\*\*Zの場合>

- 全てのハーネスを抜き、完全にノーマル状態に戻して下さい。  
\* 完全にノーマル状態にしても直らない場合、MINICON α の制御とは関係の無い部分の原因が考えられます。

## 【トラブルチェック】

**警告** 走行中などでエンジンチェックランプが点灯しエマージェンシーモードに入り、エンジンが吹けあがらない状態になった場合は、車両を安全な場所へ移動し一旦停車させ、エンジンを停止し1～2分後にMINICON α をノーマル状態にして再始動させて下さい。

### <カプラーの勤合が非常に悪い> \* 130VITZにてこの様な車両がありました。

- 一部車両にて車両側のメスカプラーとMINICON α のオスカプラーの勤合がしにくい時があります。その場合は車両のメスカプラー奥に付いている防水ゴムを外した状態でMINICON α のオスカプラーを確実に接続して下さい。

### <アイドリング不調>

- ハーネスの挿入方向、接触等を再確認して下さい。
- 取り付け作業時にバッテリーをはずしてしまうとアイドリング学習が必要です。カーディーラー等にて確認して下さい。

### <エンジンチェックランプ点灯、吹けあがらない>

- ハーネスの挿入方向を再確認して下さい。

### <点灯したチェックランプを消す方法>

- 正常な状態で、<エンジン始動> ⇄ <1分間エンジン停止> を3～5回繰り返して下さい。ECUが正常と判断し、エンジンチェックが消えます。
- 何度やってもエンジンチェックが消灯しない時は、カーディーラー等の専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。